

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

嶮山小通信

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

横浜市立嶮山小学校

TEL:902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和 3年 9月 1日

8・9月号

校長 山口 昭代

9月13日までの緊急の取組について

校長 山口 昭代

保護者のみなさま、地域のみなさま、お元気でお過ごしでしょうか。

夏休みに入る前の7月には、新型コロナウイルスの感染拡大が、これほどまでに猛威を奮うとは思っていませんでした。神奈川県感染者の数は、一進一退を繰り返しながらも、一日に1000人～2000人台の日が、日常的になってしまいました。従来とは異なり、何倍も感染力の高いデルタ株への置き換わりが進んだことが原因とも報道されています。

そして、このような中で9月1日には学校再開を迎えることとなり、より一層の感染対策を講じながらの教育活動を推進することになりました。その一環として、分散登校（隔日登校）を行うことが、横浜市教育委員会から通知され、9月13日までの期間、学校では、登校児童と、家庭学習児童と、1年生から3年生、個別支援学級児童を中心とする緊急受け入れ児童の指導を同時に行っていくことになります。

何よりも、分散登校により、児童同士の密を避け、感染防止を徹底するということが大前提ですので、今後、教室に入る児童の人数や、活動の様子、さらには、オンライン学習のスムーズな実施等、多くの課題が考えられますが、保護者のみなさまのご協力を得て、子どもたちの生命・健康と安全、そして学習保障を、なんとか両立させていきたいと思っております。

今後とも、ご相談等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。引き続きまして、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

互いを認め合う

児童支援専任 佐々木 悠

東京2020オリンピック競技大会。たくさんの意見がある中で東京オリンピックが開催されました。その中でもアスリート達が様々な思いを抱えながら自分の人生を賭け、真剣に競技に取り組む姿には感動しました。そして現在は、パラリンピックの競技が行われているところです。こんな一場面がありました。

バーシム選手（カタル）「二人とも金メダルでは？」

審判 「できます。」

タンベリ選手（イタリア）「…（ハイタッチ、抱き合う）イエーッ！」



走り高跳び 男子 決勝

他にも心を打たれる場面はたくさんありました。今大会では、勝っても、負けても、「お互いを認め合う」姿がたくさん見られたように感じました。いよいよ学校が再開します。子どもたちも一言に楽しい夏休みとはいかなかったかもしれません。それでも学校が再開します。私たち教職員と子ども、子どもと子ども。互いが認め合える学校にしていきたいです。世の中の状況もまだまだ不安定なところがあります。それでも子どもたちと一緒に今何ができるのかを考え、見つけ、前に進んでいきたいと思っています。引き続きご協力よろしくお願いいたします。